



こうなんです

昭和55年度決算と

市は、市民のみなさんに、富士市のお金ややりくりがどのようになっているかを知っていただくため、毎年6月と12月の2回、「富士市の財政事情」を公表しています。

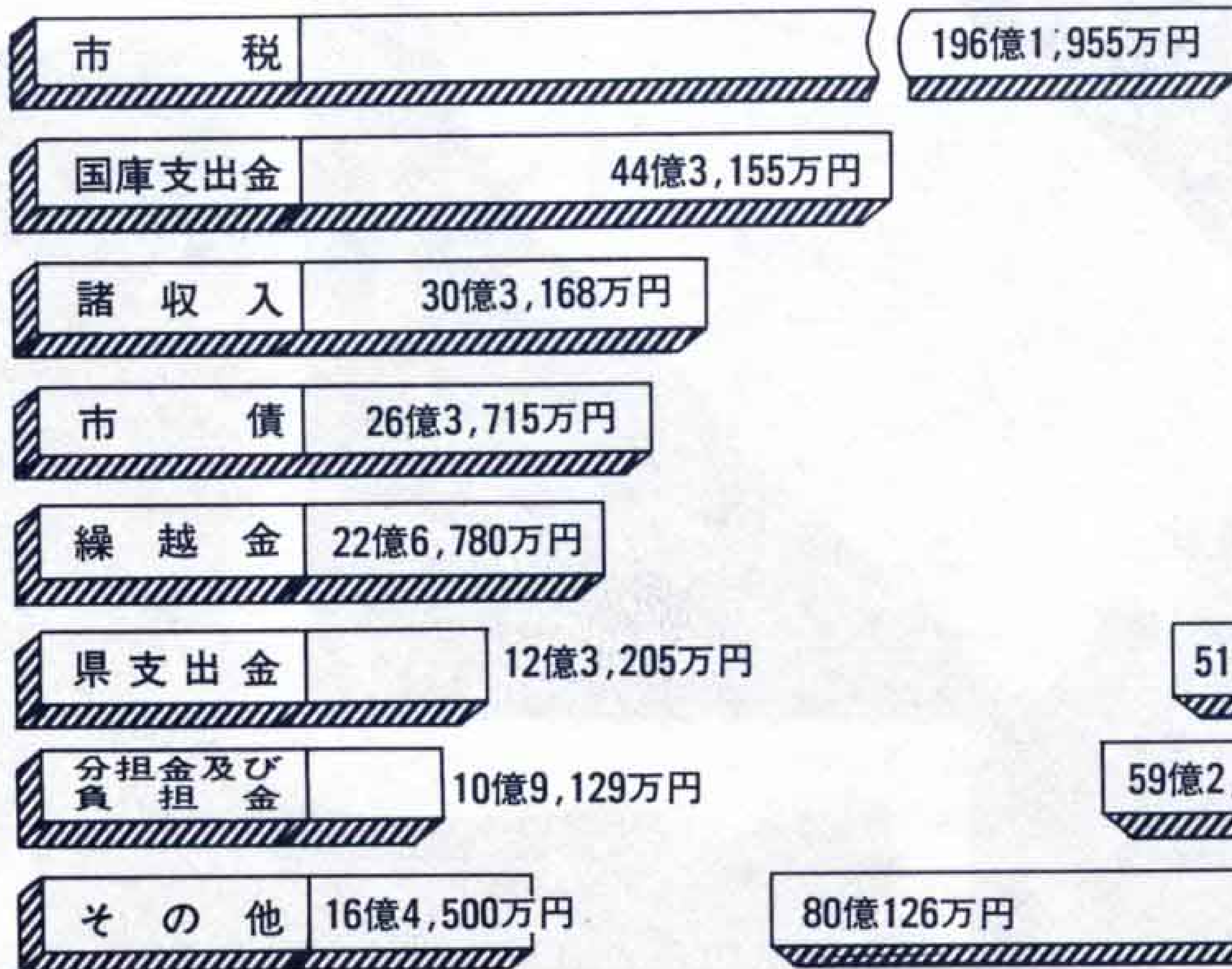
今回は、昭和55年度の決算状況と昭和56年度（4月1日から9月30日まで）の財政状況をグラフを使ってお知らせします。

2ページには、昭和55年度一般会計の決算状況と市税のうちわけ、歳出の性質別うちわけを、3ページと4ページには、市債の状況、市有財産、公営企業、特別会計の決算状況を掲載しました。5ページには、昭和56年度予算の状況を掲載してありますので、グラフを見ながら市の財政をご覧ください。

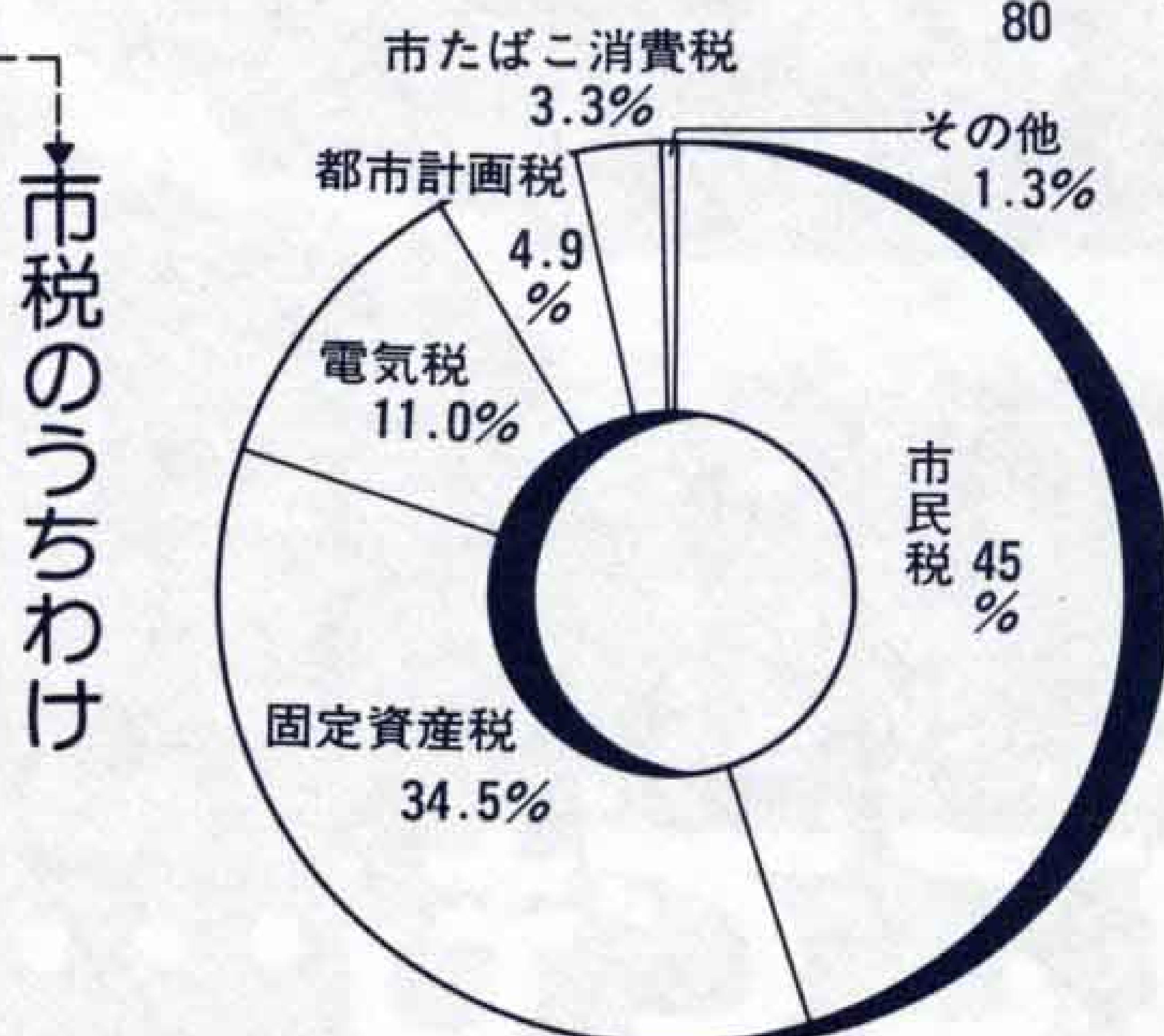
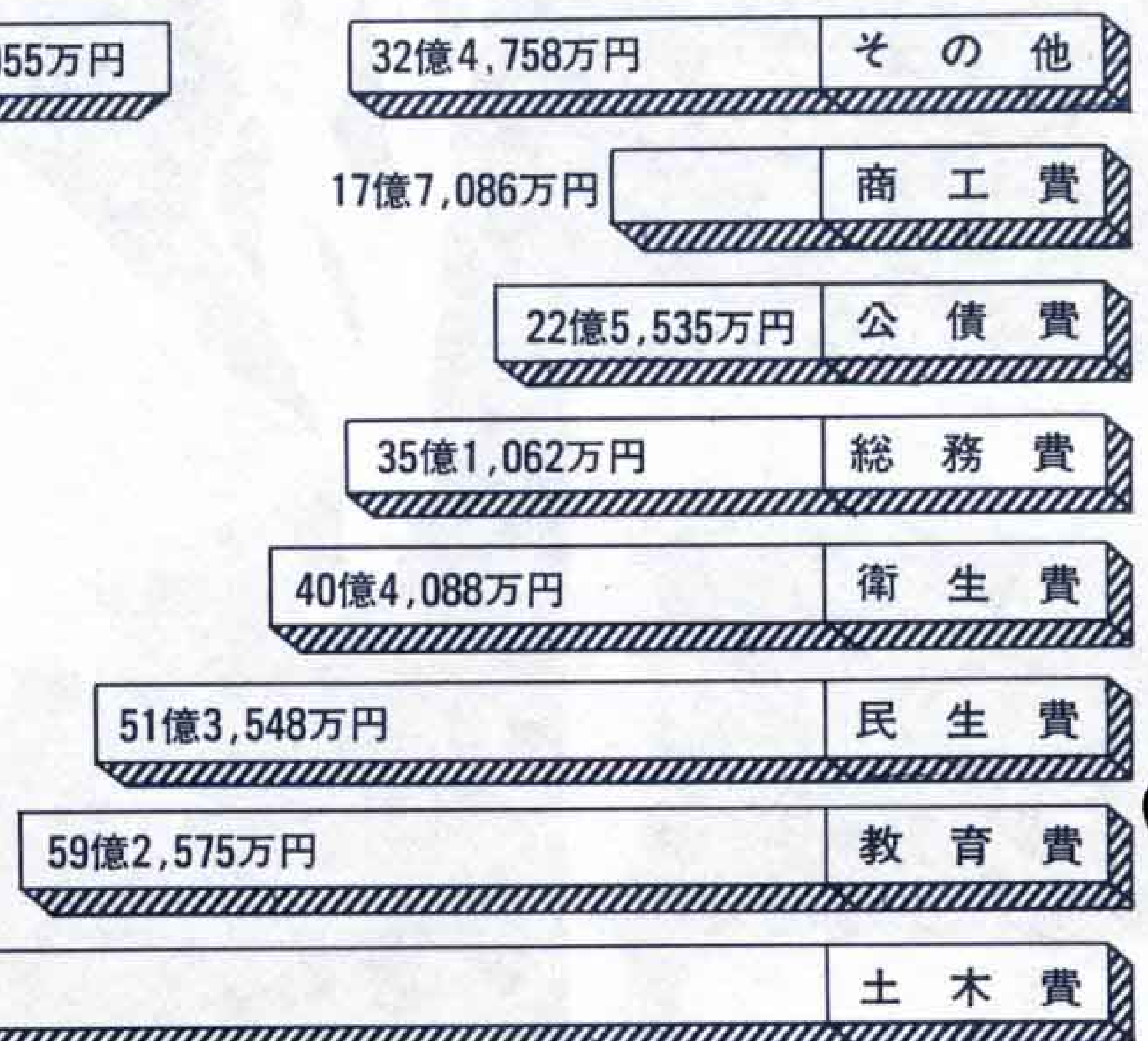
☆昭和55年度一般会計の決算状況

歳入 359億5,607万円

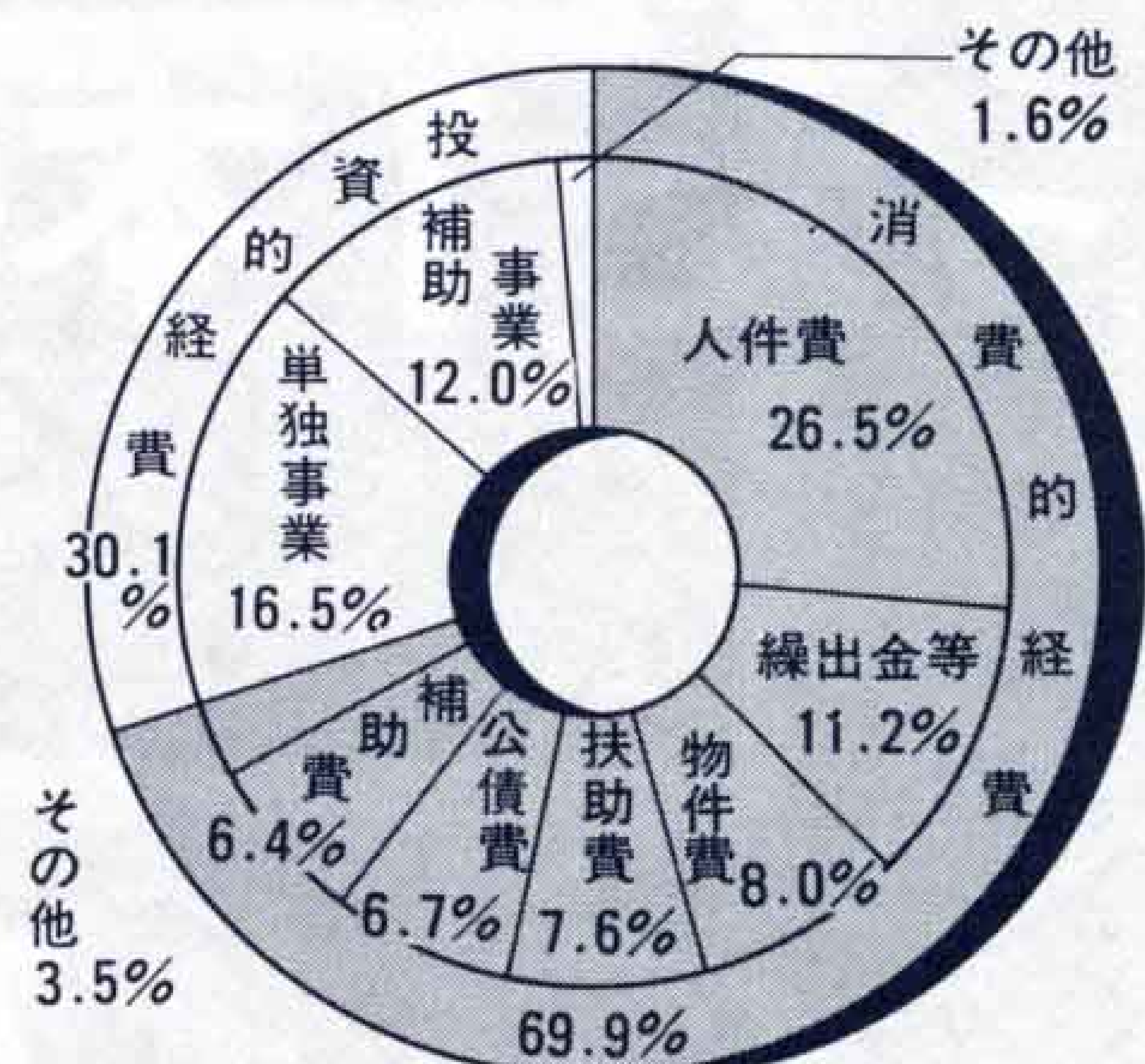
0億円 10 20 30 40 } 180 190 200



歳出 338億8,778万円



歳出の性質別うちわけ



市の台所

55年度予算の状況

市税負担は1人 9万3,860円

使ったお金は1人 16万2,119円



昭和55年度の市税負担状況をみると、1人あたりの負担額は、9万3,860円です。

その主なうちわけは、市民税4万2,233円、固定資産税3万2,336円、電気税1万300円、市たばこ消費税3,069円などです。

一世帯あたりにすると、33万7,413円負担したことになります。

昭和55年度は、1人あたり16万2,119円使いました。

その主なうちわけは、土木費に3万8,278円、教育費に2万8,348円、民生費に2万4,568円、衛生費に1万9,331円、総務費に1万6,794円、公債費に1万789円などです。

これを一世帯あたりにすると、58万2,795円になります。

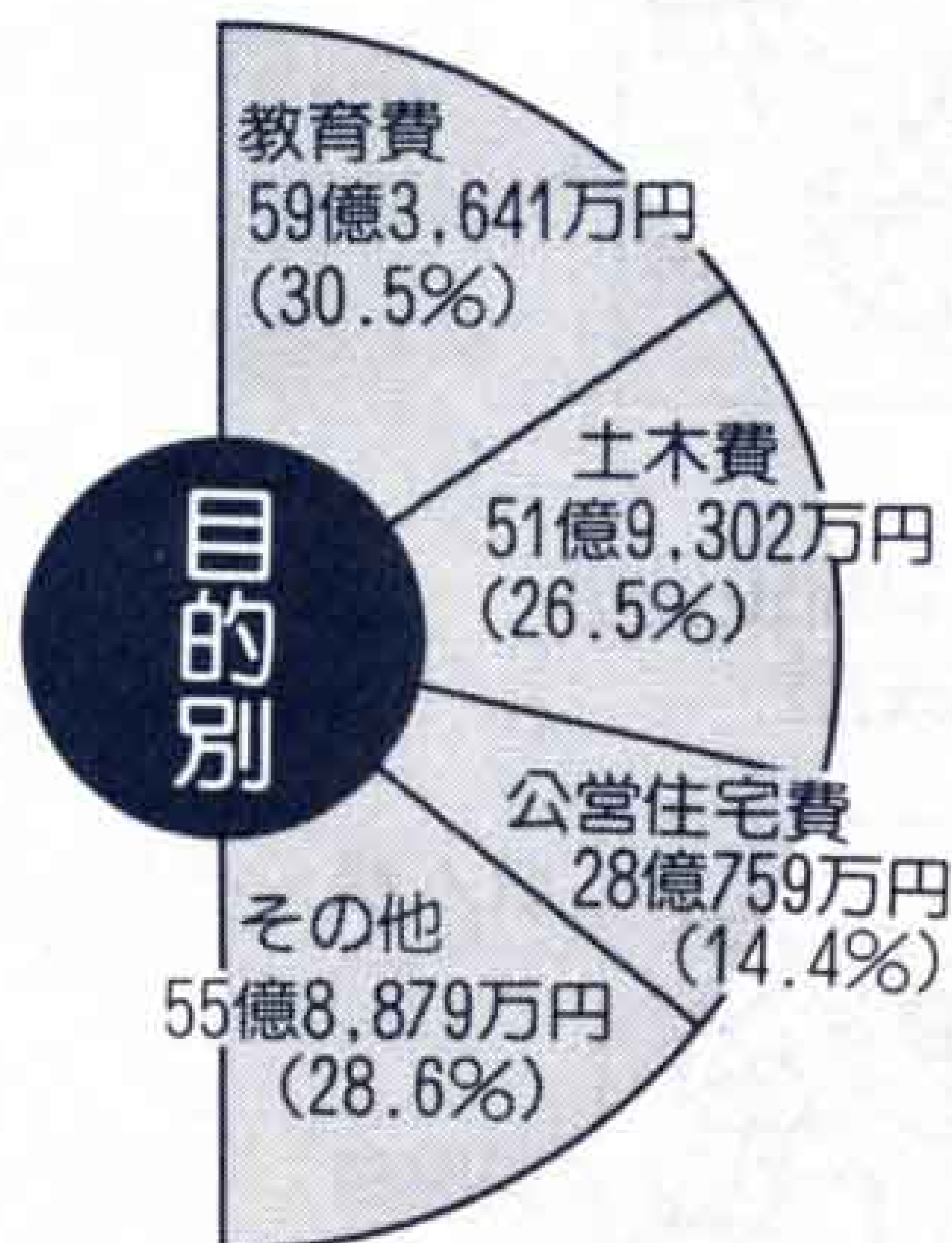
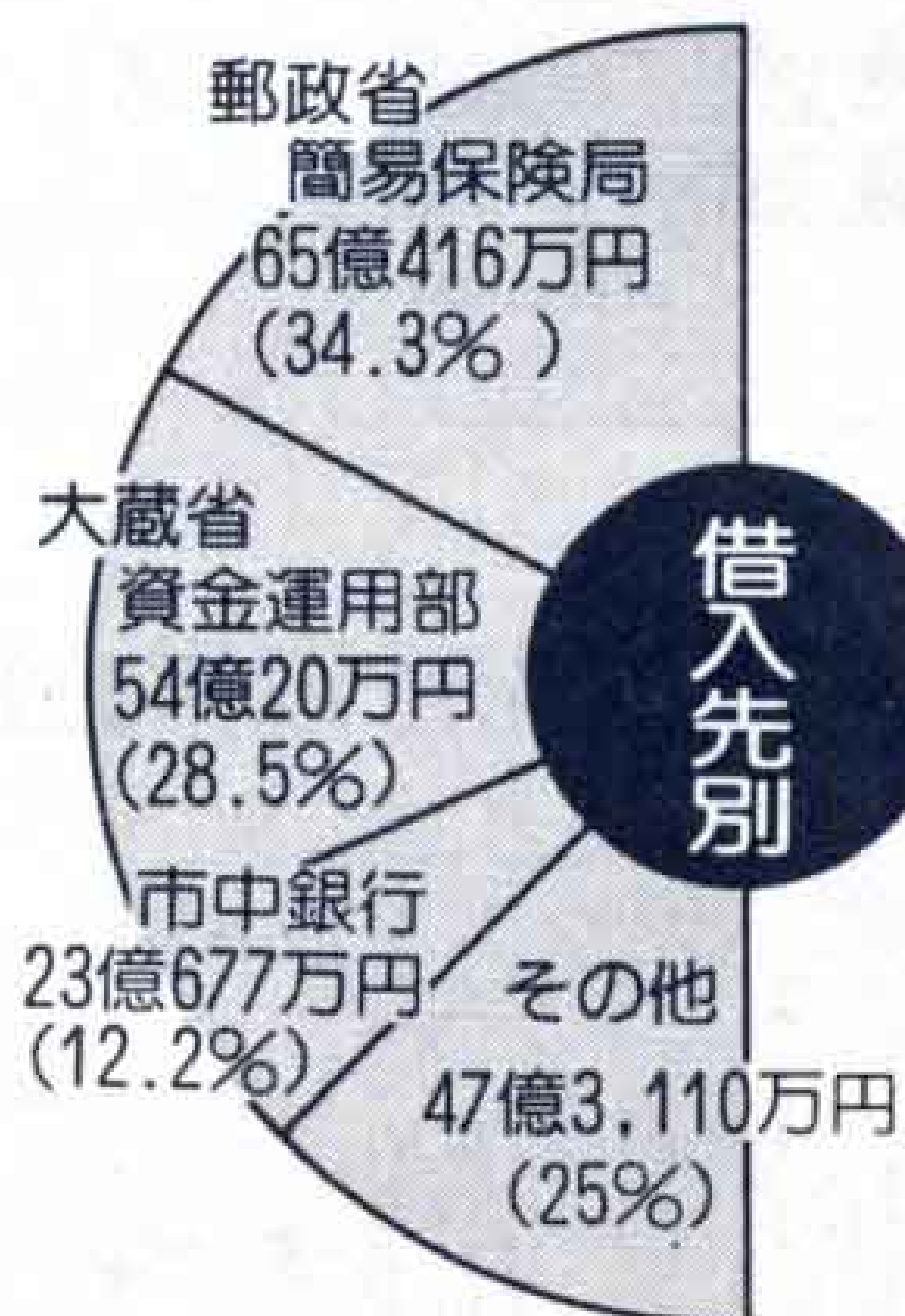
市債の状況

市の借金を市債といいます。道路や学校を造るには、巨額な費用が必要となり、市税や補助金だけでは賄えません。そこで、国や銀行からお金を借ります。現在の市債をみると次のとおりです。

市債総額 350億5,280万円

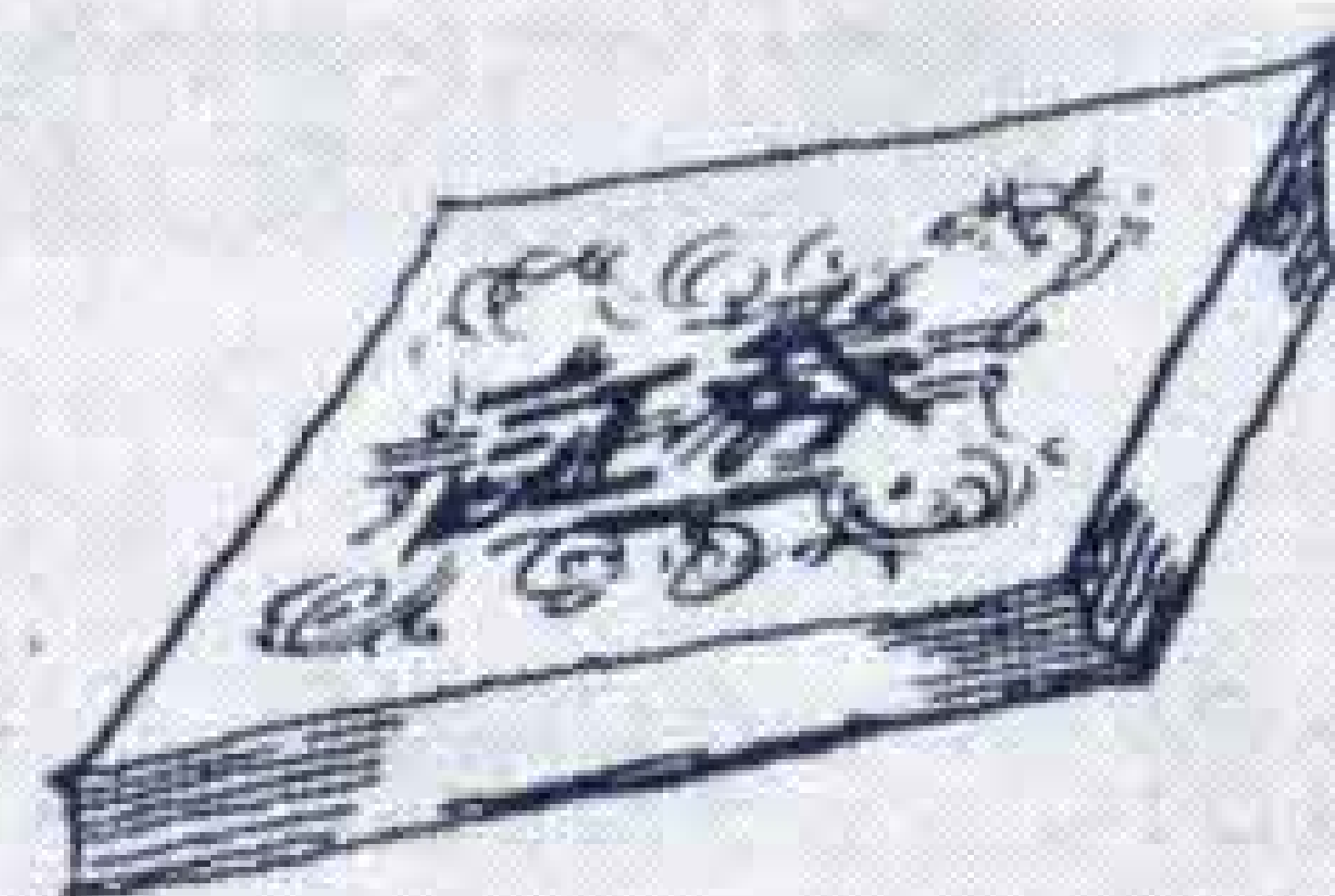
- 一般会計 189億4,222万円
- 特別会計 108億1,854万円
- 水道会計 46億8,149万円
- 病院会計 6億1,055万円

一般会計債の状況

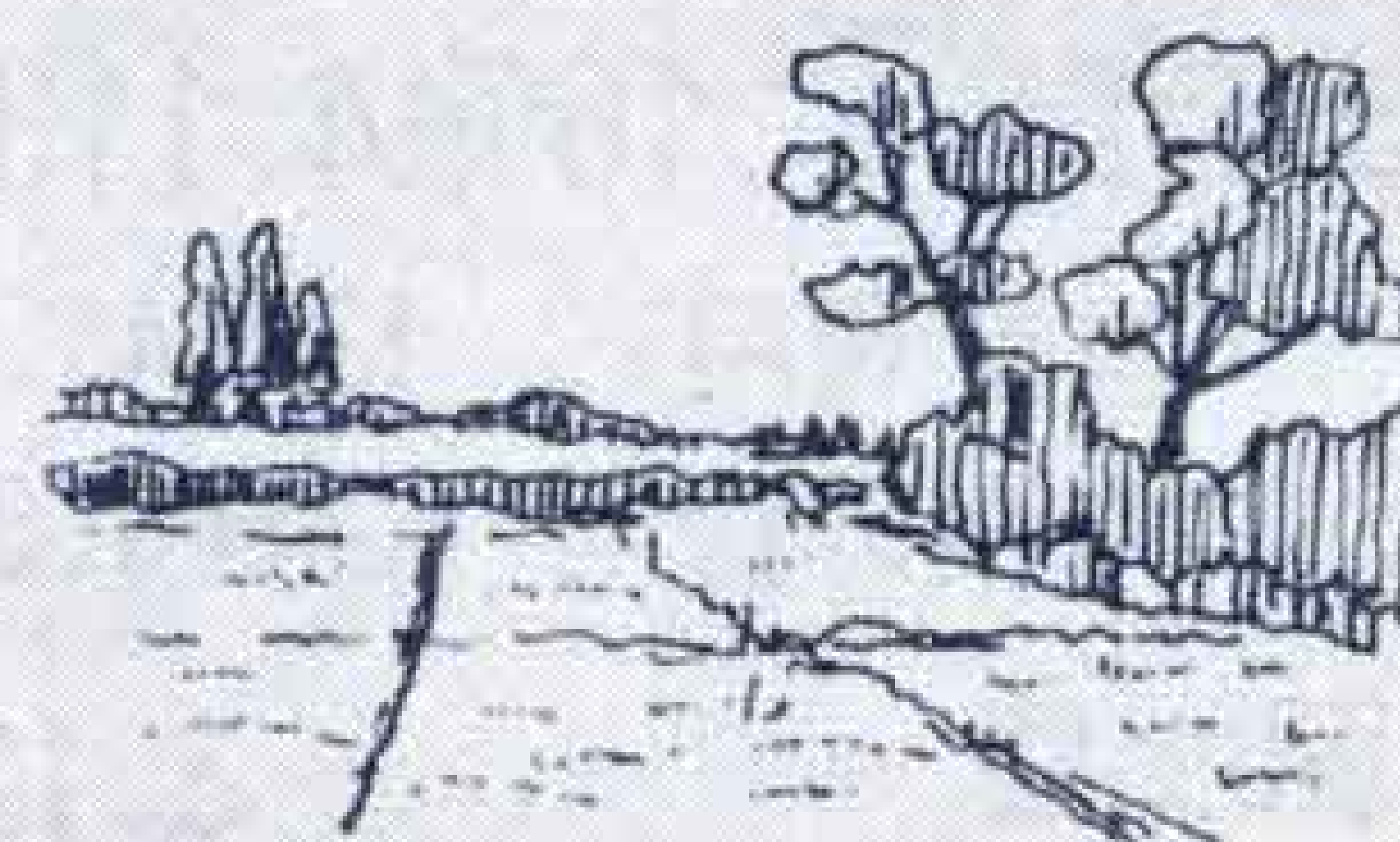


(56年9月30日現在)

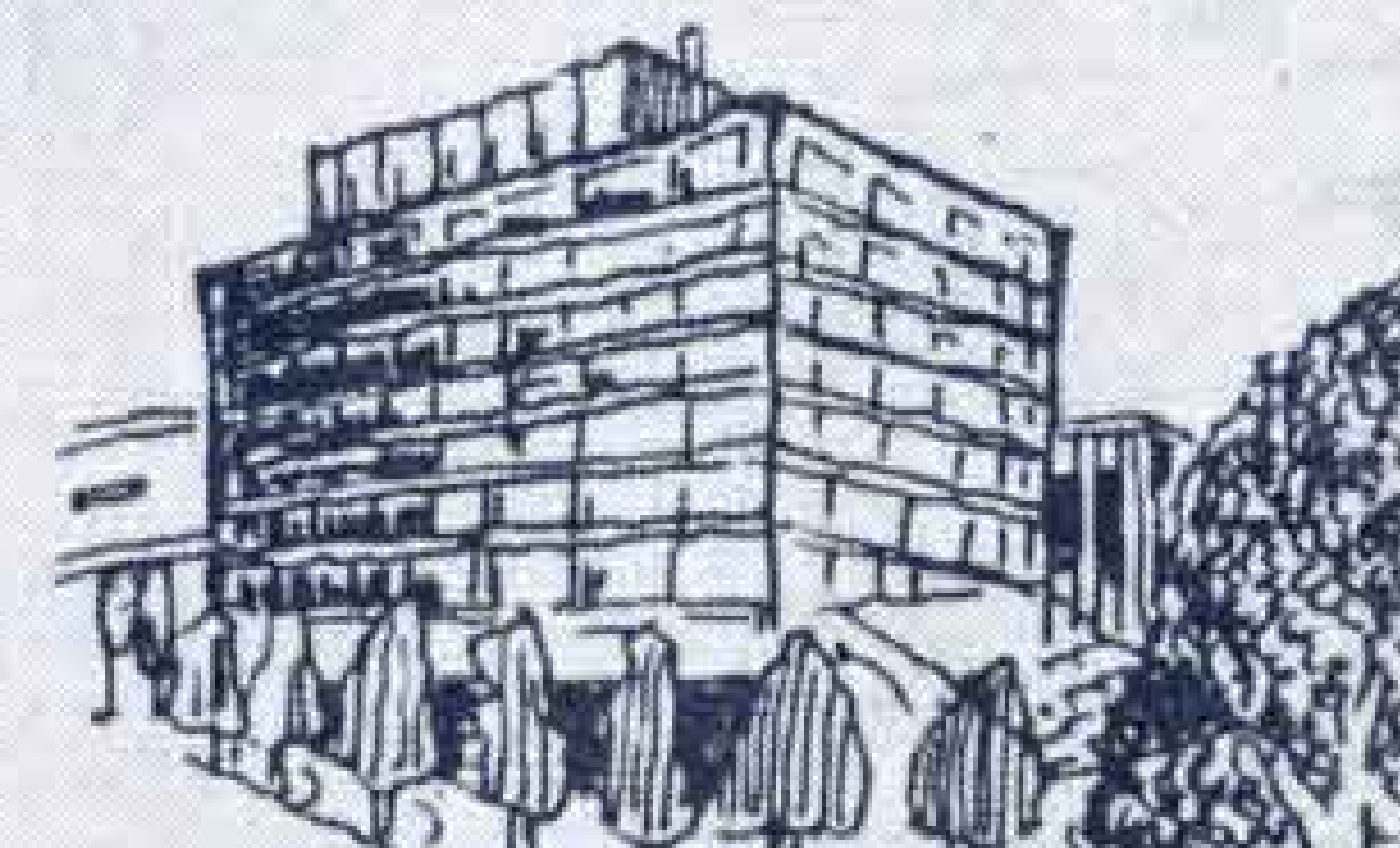
市の財産



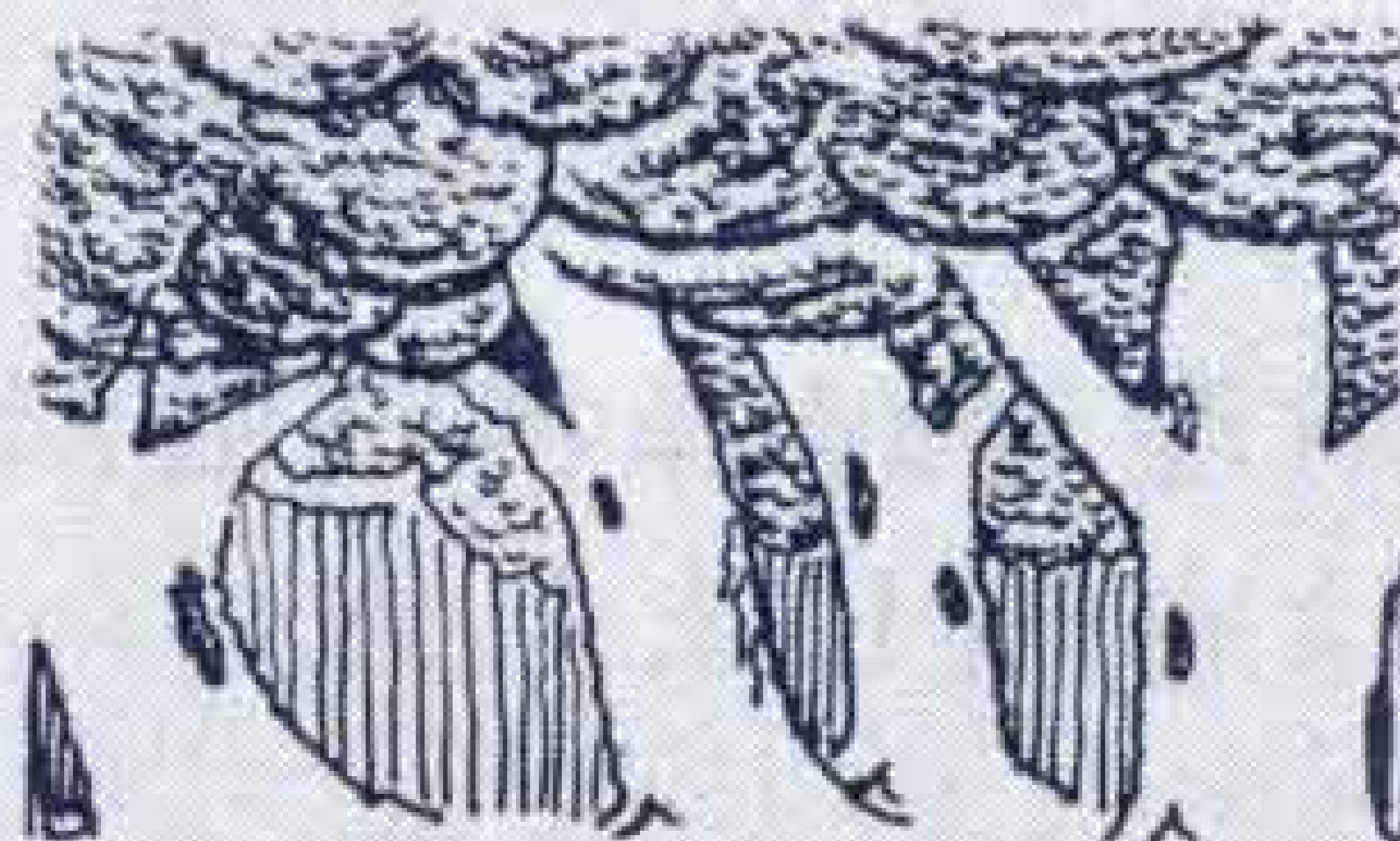
有価証券 2,441万円



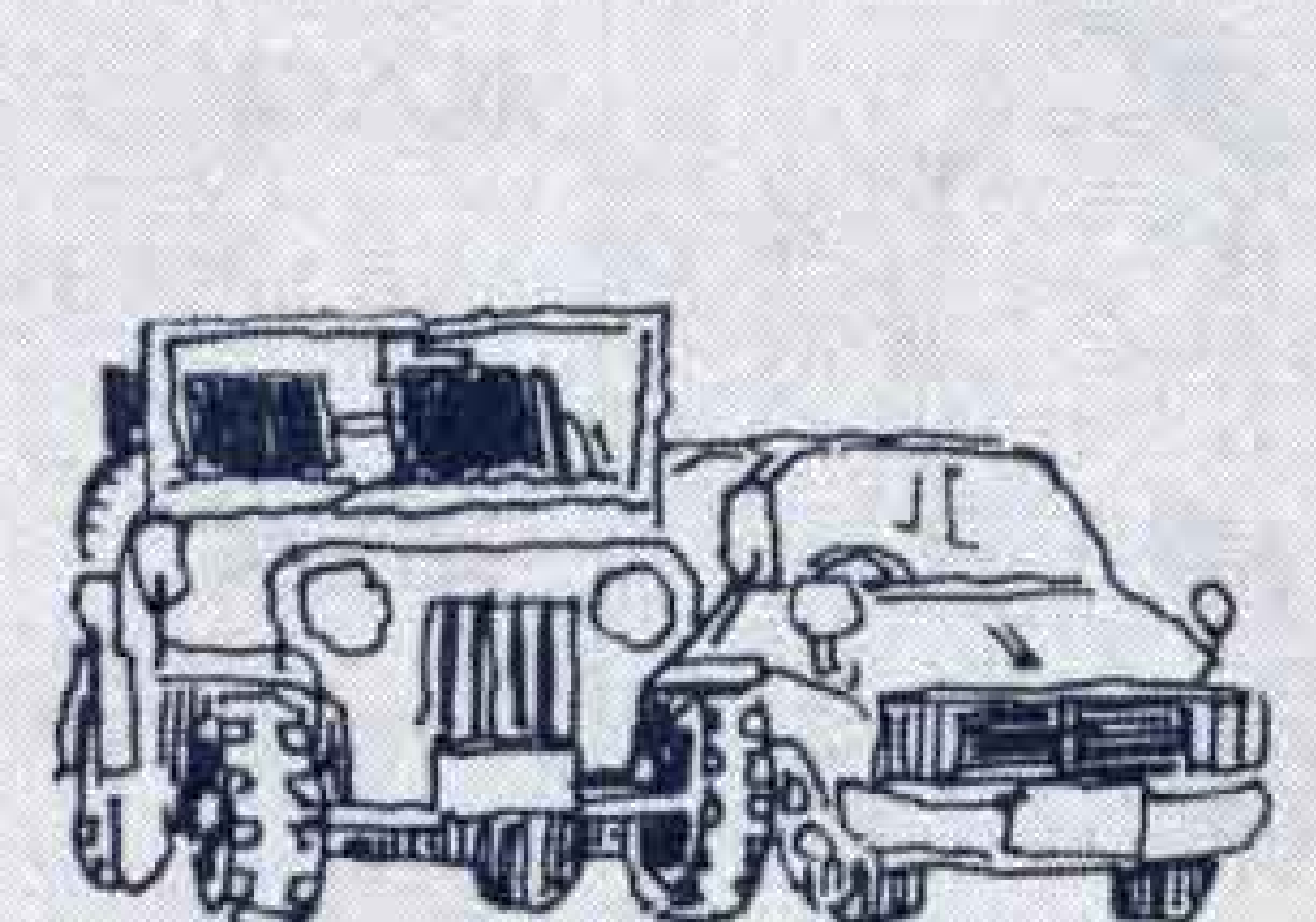
土地 4,878万3,171平方メートル



建物 48万5,992平方メートル



立木 15万8,125立方メートル



車両 244台

昭和56年9月30日現在

基金の現在高
15億1,416万円

基金の主なものは、国保支払準備基金、土地開発基金、総合社会文化会館基金です。

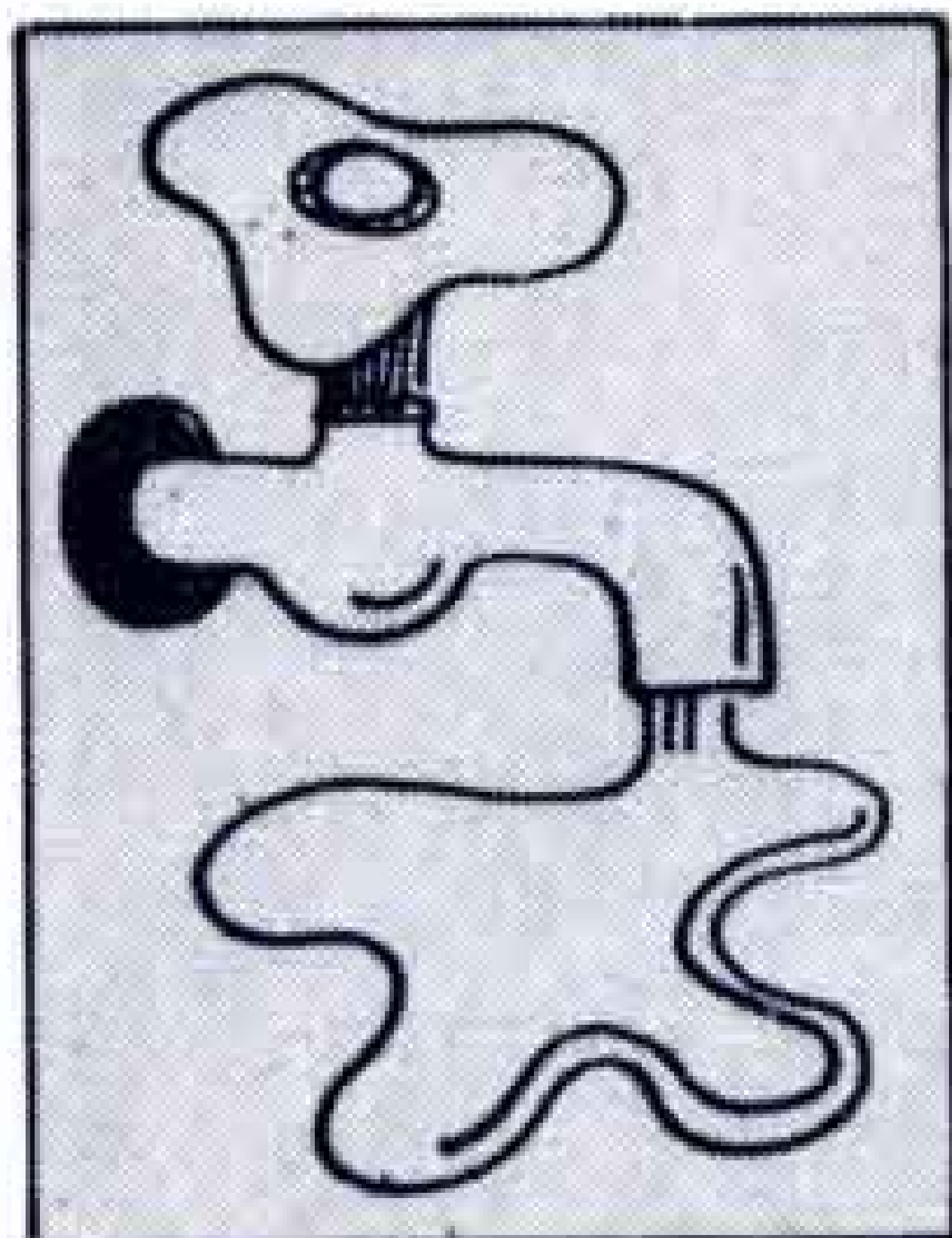
昭和55年度公営企業・特別会計の決算状況

水道事業

収入合計 16億9,957万円
 営業収益 15億7,246万円
 営業外収益 1億2,675万円
 特別利益 36万円
 支出合計 16億4,113万円
 営業費用 13億4,215万円
 営業外費用 2億9,898万円

総配水量 3,126万立方メートル

1日平均 8万5,650立方メートル
 1日1人平均 474リットル
 (昭和55.4.1～56.3.31)



病院事業

・収入合計 33億8,469万円
 医業収益 30億1,022万円
 医業外収益 3億7,447万円
 ・支出合計 33億6,790万円
 医業費用 32億9,324万円
 医業外費用 7,466万円

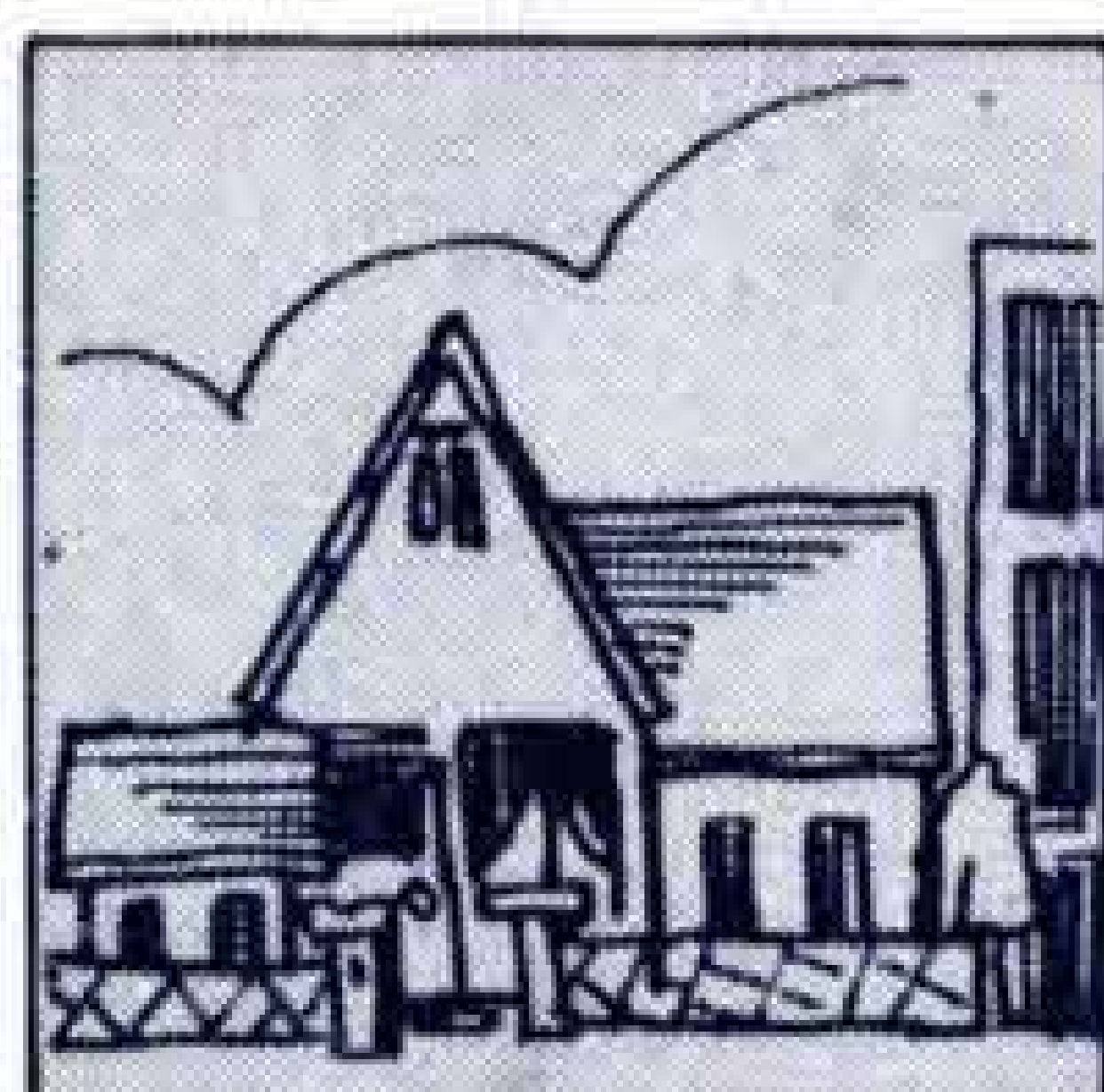
入院患者延 9万8,115人
 外来患者 20万5,878人
 外来1日平均 695人



特別会計

(財産管理等特別会計)
は省略しました

青島・津田区画 整理清算金会計



収入額 209万円
 支出額 209万円

依田原新田区画 整理会計



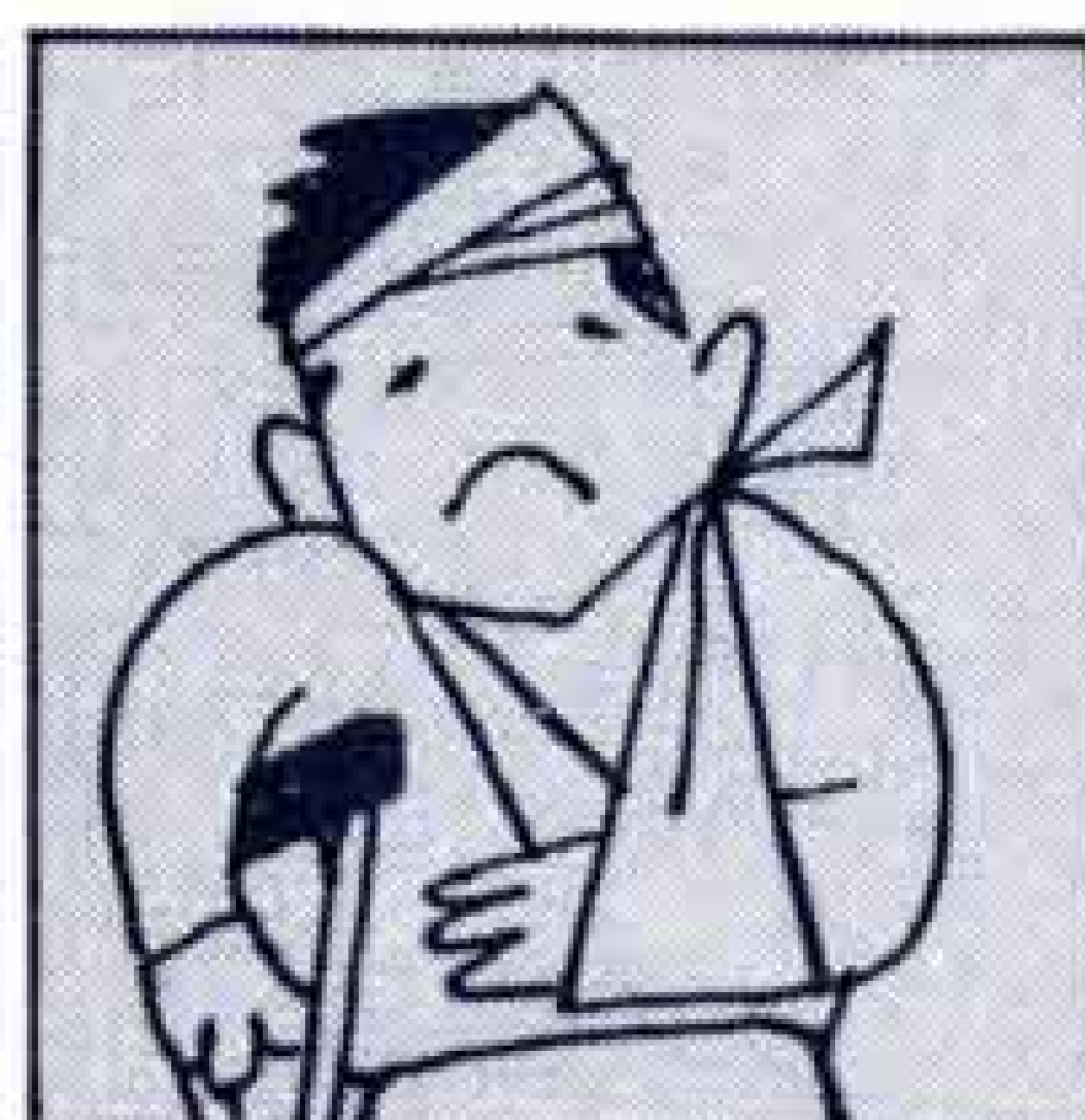
収入額 7億8,311万円
 支出額 7億3,829万円

地方卸売市場会計



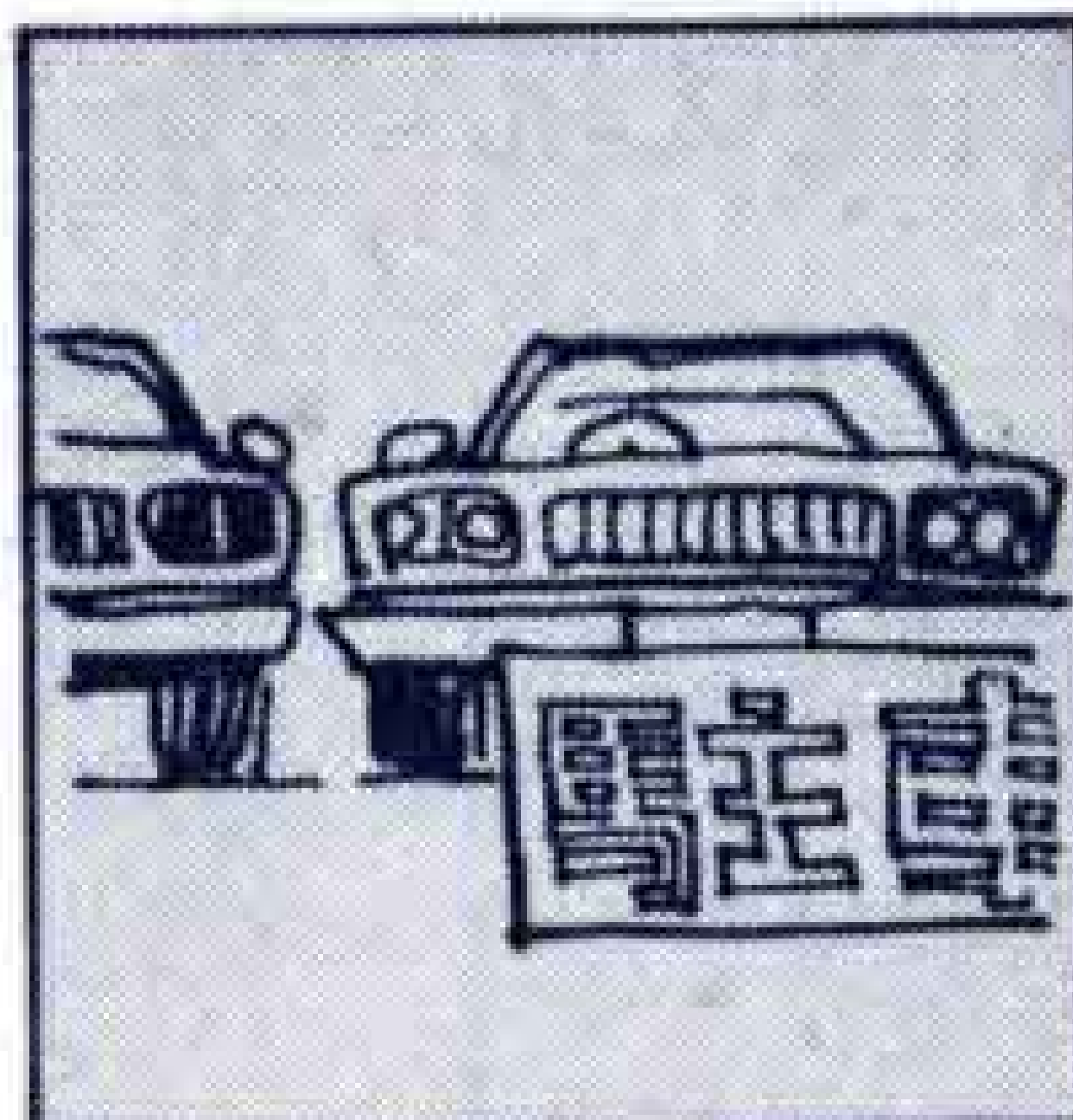
収入額 5億8,561万円
 支出額 5億6,872万円

国保会計



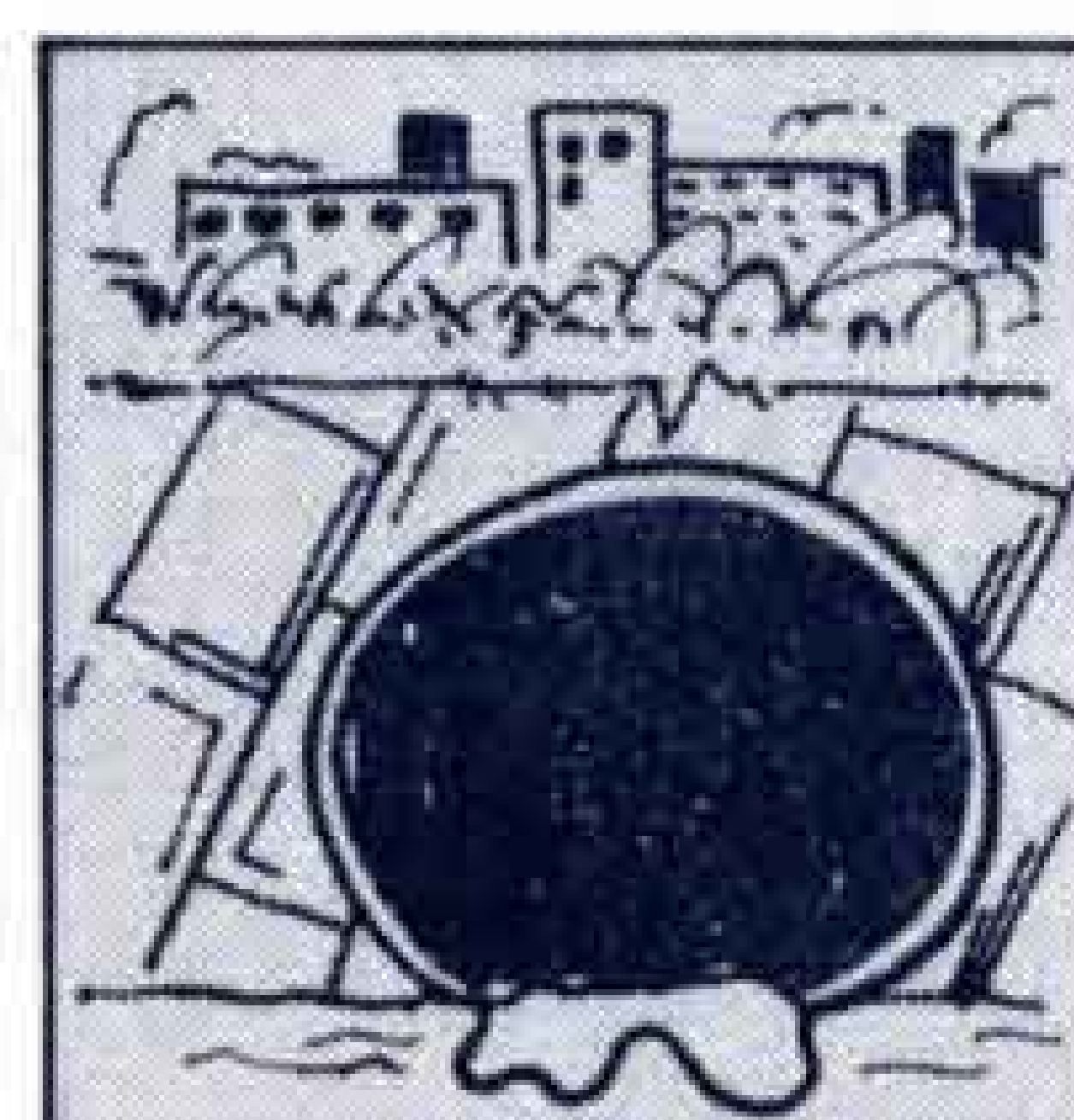
収入額 42億475万円
 支出額 41億767万円

駐車場会計



収入額 6,494万円
 支出額 6,287万円

下水道会計



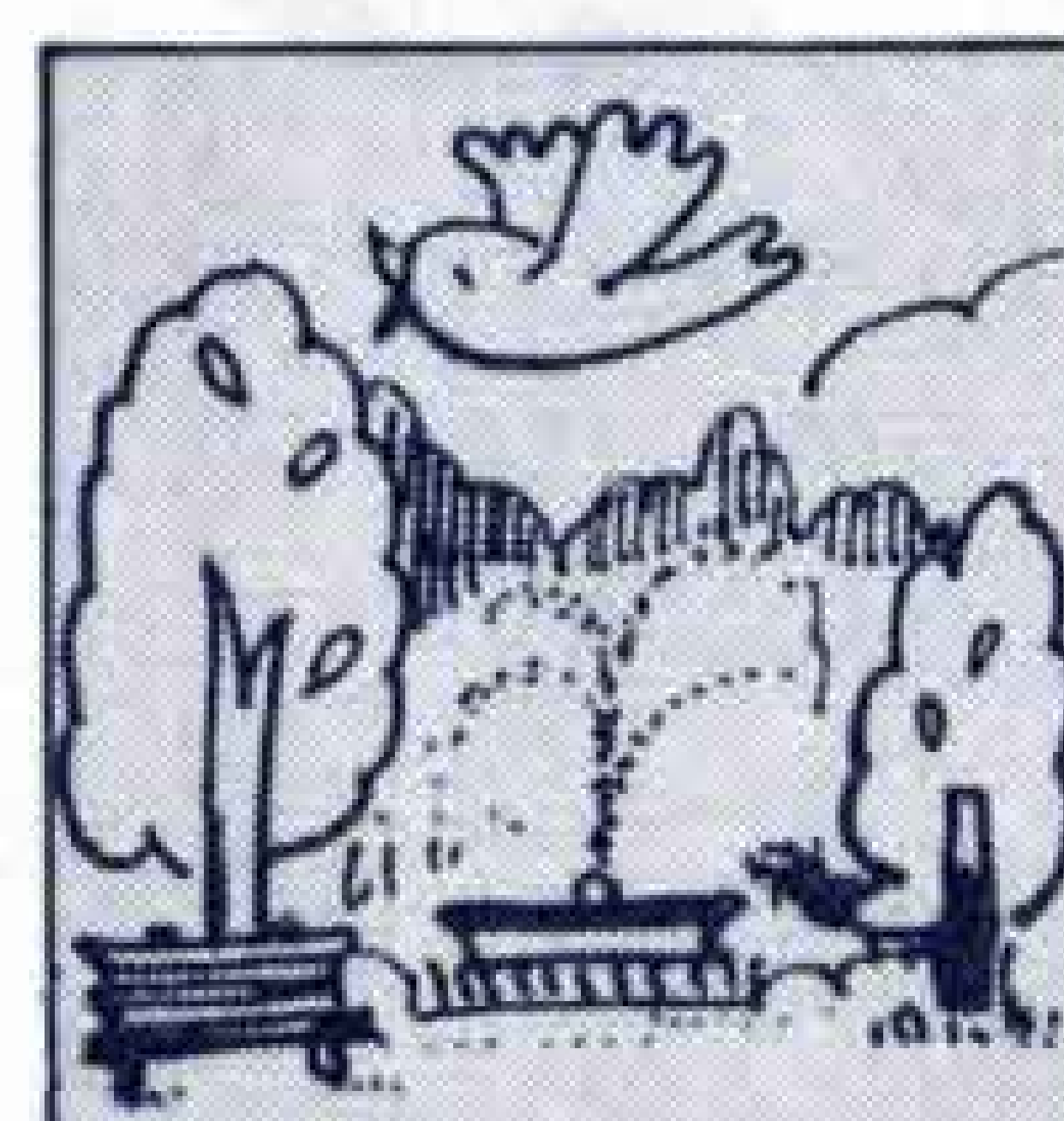
収入額 29億5,671万円
 支出額 27億6,199万円

富士中部区画 整理会計



収入額 7,774万円
 支出額 7,109万円

公共用地先行取得会計

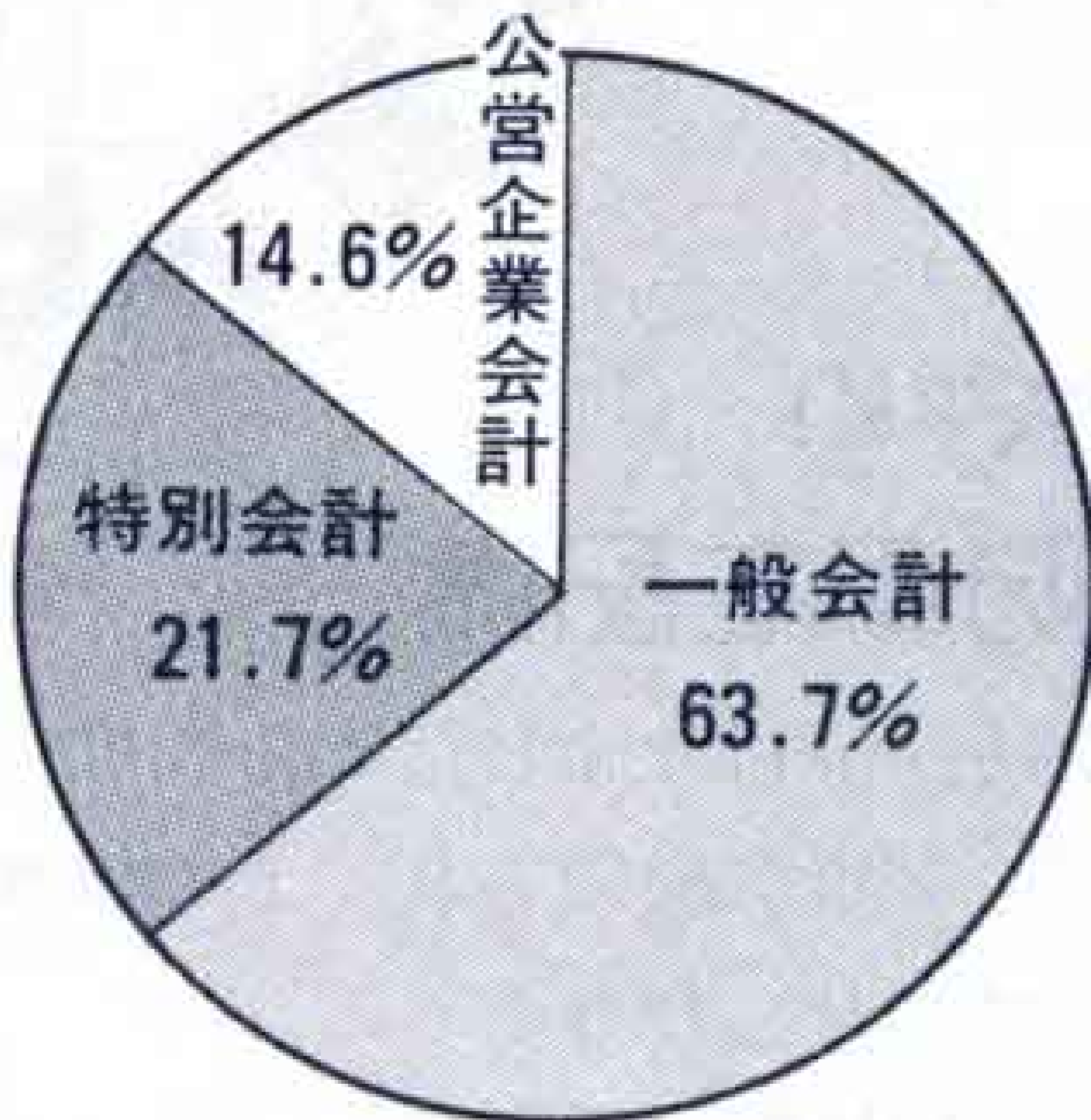


収入額 5億9,136万円
 支出額 5億9,136万円

56年度予算の状況

民生費が大幅な伸び

会計別予算割合



昭和56年度の予算額は、9月30日現在で、一般会計364億660万円、特別会計124億1,344万円、公営企業会計83億4,149万円、総額571億6,153万円になります。

一般会計は、当初予算が346億7,000万円でしたが、その後、2回の追加補正により17億3,660万円が追加されました。一般会計では、前年度に比べ、民生費が大幅な伸びをみせて

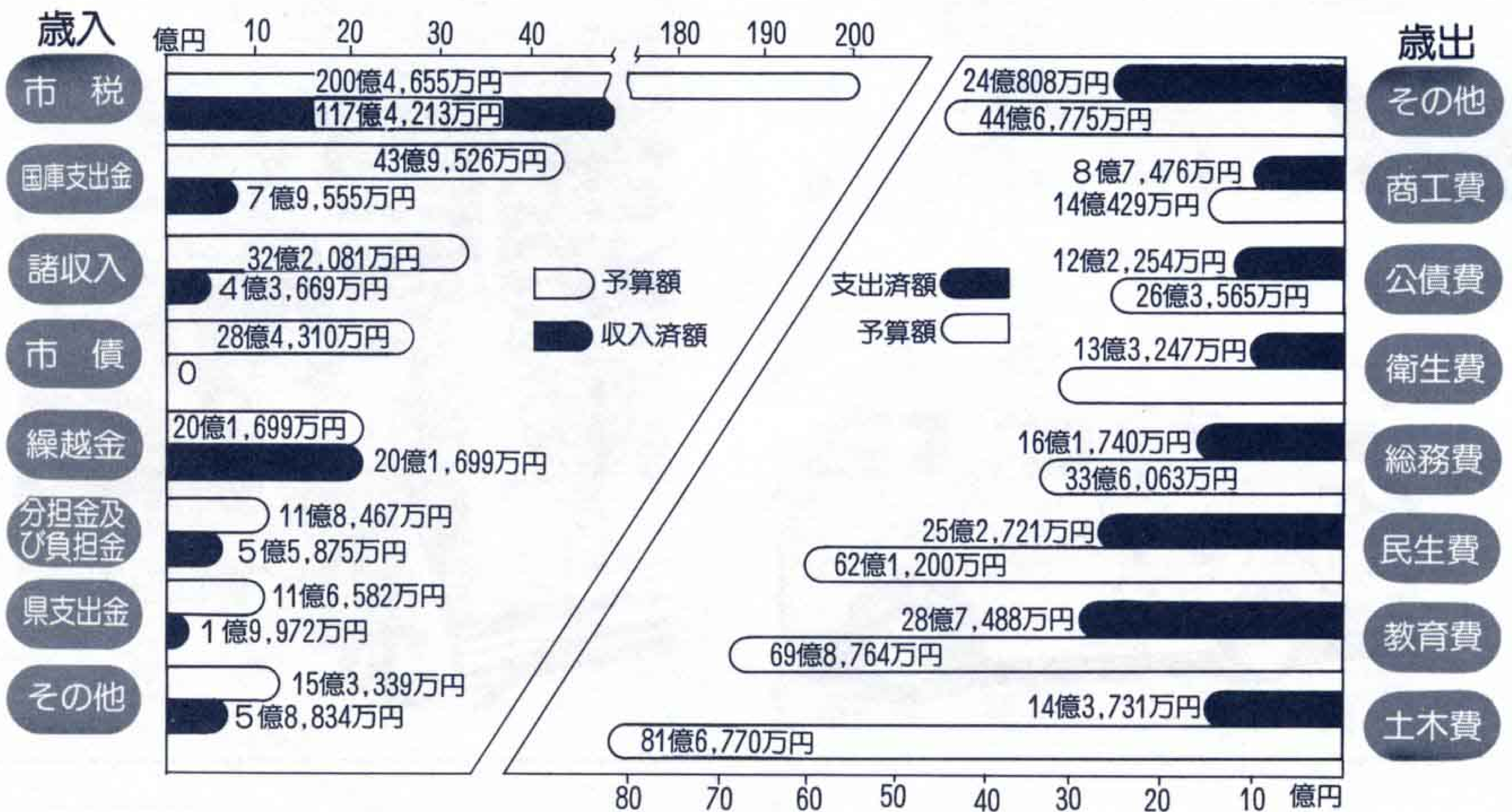
います。また、今年度事業として、市立中央病院の用地取得費や岩松小の建設用地取得費が含まれています。

特別会計では、下水道会計が前年に比べ大きな伸びをみせていますが、これは、東部下水処理場の用地取得費が含まれているためです。

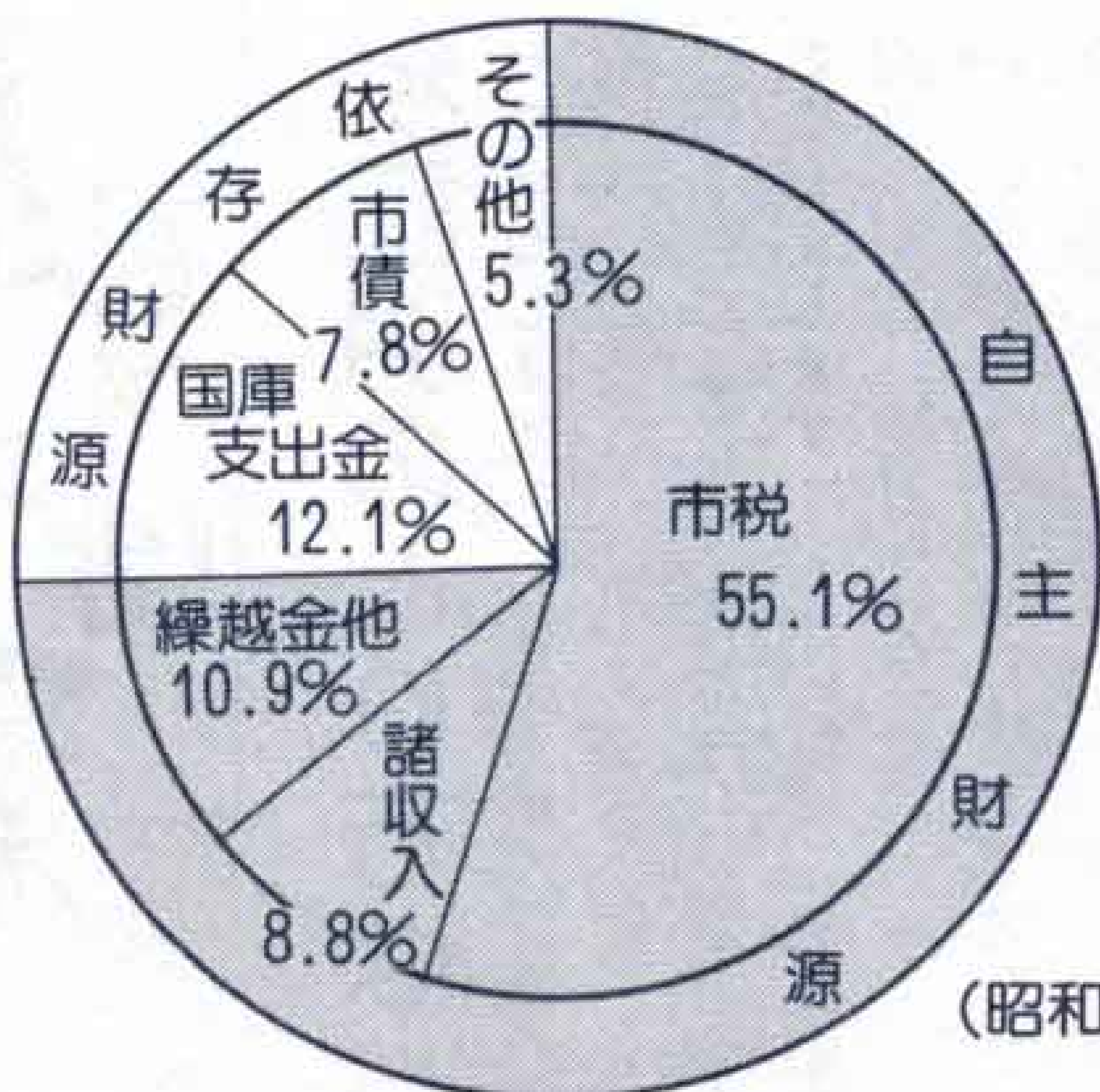
公営企業会計のうちわけは、水道会計が27億9,955万円、病院会計が55億4,194万円です。

昭和56年度 一般会計の予算及び執行状況

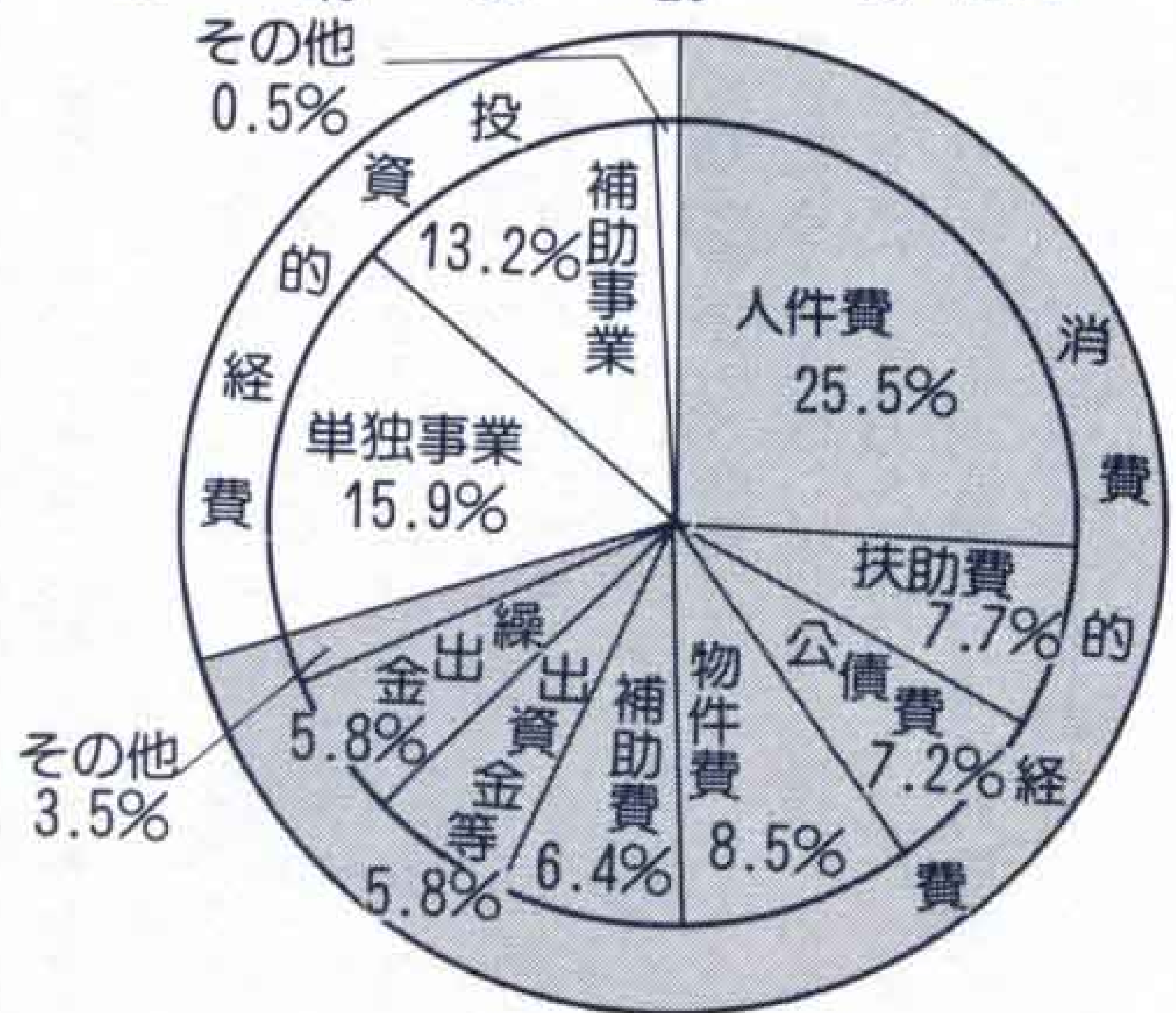
(昭和56年9月30日現在)



歳入の財源別状況



歳出の性質別状況



(昭和56年9月30日現在)